

謹弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

近藤 勉 氏	下関市医師会	7月17日	享年 87
品川 秀敬 氏	宇部市医師会	7月20日	享年 63
都野 治男 氏	徳山医師会	7月27日	享年 88

編集後記

SNS、ご存知ですね。私が知っているのはライン、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックぐらいですけど。N天堂のゲームやYチューブと同様、子どもたちの近視の原因と考えられるので、眼科医には好感を持ちにくい存在です。ちなみに、コロナ禍のこの一年、学校健診のデータによると子どもたちの肥満と近視が増えたそうです。そしてこのSNSは、近視のみならず、より深刻な影響を子どもたちに与える道具だと思っています。

今、気になっている映画が2020年チェコで制作された「SNS少女たちの10日間」。

巨大なスタジオに作られた3つの子ども部屋で、童顔の3名の女優（18歳以上）が偽のSNSアカウントで12歳のふりをするという任務を始める。アカウント開設直後から通知音が鳴り続け、10日間で2,458匹のオオカミ（かなり婉曲な表現）が連絡を取ってきた。大多数の成人男性は、ビデオセックスを要求し、自身の性器の写真やポルノのリンクを送信してきた。恐喝する者もいた。彼らの多くは、小児性愛者ではない。12歳なら支配、性的搾取できると狙ってきた卑劣な者どもだ。現代の子どもたちがSNSで直面する危険を映し出すリアリティーショー。本国チェコでの映画上映は大きな反響を呼び、チェコ警察も乗り出したという。

日本では、今年8月よりデジタル配信開始、10月よりDVD発売開始予定です。と、紹介しているくせに、私まだ見てないです。すみません。もちろん、アマゾンプライムでレンタルする予定ではあります。ただ、この映画を鑑賞している自分の姿を想像するに、TVかPCに向かい知っている限りの罵詈雑言を浴びせているか、或いは、あまりの胸糞の悪さ（失礼）にぐったりしそうで、なかなかクリックできないのです。いや、しかしこの夏のうちに見るつもりです。

この映画、子どもを持った親御さんだけでなく、男性がご覧になるといい気がします。「SNS少女たちの10日間」皆様もいかがですか。

（常任理事 長谷川奈津江）